

冬道の安全対策

いよいよ冬の到来。これから寒さが厳しくなり、雪の降る量も多くなってきます。積雪や道路の凍結など冬道に潜む危険から身を守るためにはどのようなことに気を付ければよいのでしょうか？

このページに関するお問い合わせは 総務企画課地域安全担当 ☎ 681-2425

車を運転するときの注意点

～冬道安全運転5則～

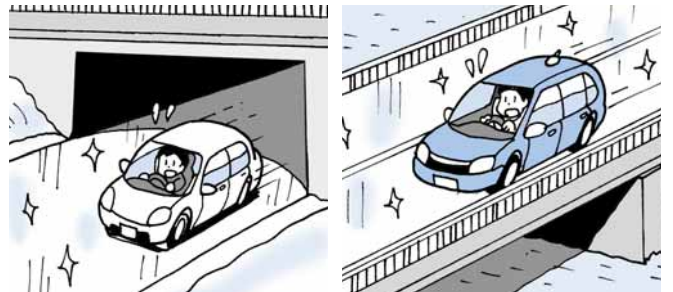
1. スピードは、夏場より 10 キロ以上減速!
2. 車間距離は路面乾燥時の 2 倍以上確保!
3. 急加速、急ブレーキ、急ハンドルは禁物!
4. 視界不良時は前方をよく見て、早めに徐行!
5. 無理な追い越しは禁物!

冬型の交通事故において、「スリップ」による事故が全体の約 8 割を占めています。スリップ事故が多く発生するのは、夜間よりも日中の時間帯で、外気温がマイナス 4℃からマイナス 2℃のときです。雪道では、ブレーキをかけても思ったように止まらなかったり、急発進や急ブレーキ、急ハンドルの操作を行うと車が左右に振られるなどコントロールができなくなる場合があります。アクセルは徐々に踏み込んでゆっくり発進し、スピードを控え、慎重かつ早めの操作を心掛け、余裕を持った運転をしましょう。

危険



▲交差点の周辺では路面が滑りやすくなっています。早めにアクセルを緩め減速し、確実に停止できるようにしましょう。



▲橋の上、高速道路などの高架下の道路やトンネルの出入り口などは、路面が凍結しやすく、スリップ事故も多発する場所ですので注意しましょう。

守る

◇飲んだら乗らない



▲少量のアルコールでも注意力や情報処理能力が低下し、ブレーキを踏むのが遅れたり、速度を超過するなど運転操作に影響が生じます。重大事故の原因となりますので、飲酒運転は絶対にやめましょう。

◇シートベルト着用



▲衝突の弾みで天井やドアなどにたたきつけられたり、車外に放り出されたりして、重傷を負う危険性が高くなります。運転席や助手席はもちろん後部座席でもシートベルトを着用しましょう。